

平成27年度 第2回美術館セミナーの報告

- 1 日時 平成28年2月7日（日） 10：00～16：30
2 場所 茨城県近代美術館 地階講座室
3 参加者 県内の幼稚園，小学校，中学校，高等学校の教員，一般（33名）
4 講師 守みどり氏（日本画家）
※第9回現代茨城作家美術展
（会期：平成28年1月23日〔土〕～2月14日〔日〕）出品作家

～守みどり氏（日本画家）プロフィール～

千葉県出身。

東京藝術大学美術学部日本画専攻卒業。

源氏物語絵巻現状模写事業に従事（五島美術館より巡回）。

東京藝術大学大学院美術研究科日本画修士課程修了。

敦煌莫高窟壁画模写事業に従事（台東区買い上げ）。

2007年 春の院展 奨励賞受賞

2008年 春の院展 奨励賞・足立美術館賞受賞

再興第93回院展 出品作「うつつ」足立美術館買上収蔵

2009年 再興第94回院展 出品作「風の跡」足立美術館買上収蔵

源氏物語絵巻現状模写事業に従事（東京藝大蔵）

2010年 春の院展 出品作「秋の息」足立美術館買上収蔵

2012年 春の院展 奨励賞受賞

2015年 春の院展 春季展賞・郁夫賞受賞

第4回 前田青邨顕彰中村奨学会「中村賞」受賞

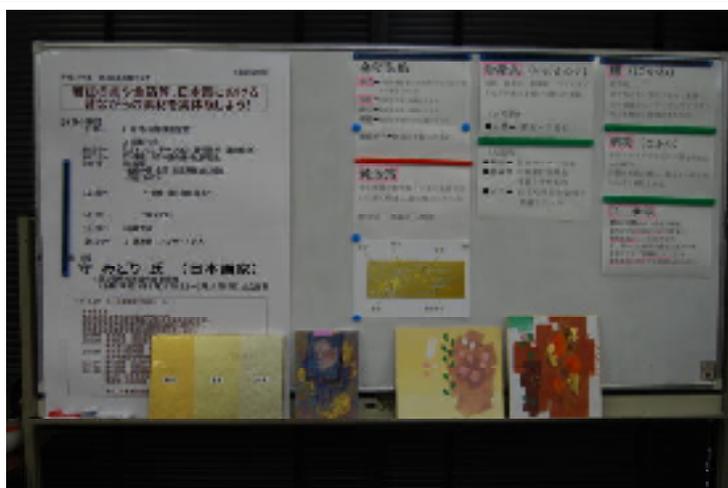
再興第100回院展 奨励賞受賞

現在，日本美術院院友・茨城県在住

5 活動内容

- 9:30～10:00 受付（地階講堂前）
10:00～10:10 オリエンテーション（日程説明等）
10:10～10:40 講義「日本画の画材と表現法」
10:40～12:00 実技・岩絵の具，金箔，金泥等技法の紹介
・作品づくり
12:00～13:00 昼食
13:00～16:00 実技・作品づくり
16:00～16:30 鑑賞会
16:30～ 諸連絡，アンケート記入

【講義】



【板書や見本】



【岩絵の具について説明している様子】

日本画の用具等について丁寧に説明していただきました。「日本画は砂絵であり，自然の中のもので色出しをしてい

ます。源氏物語からずっと同じ方法です。」などの話があり、とても参考になりました。「牡蠣の貝殻の白，朱は日本の皇帝の色」。天然岩の原石標本を参加者に見せながら色数が少ないこと，混ぜて使えないため制作時間がかかることなどを説明してくださいました。

【実技】



【水干絵の具の溶き方を教わっている様子】



【制作の様子①】



【制作の様子②】

①水干絵の具で下地づくり

水干絵の具の量，溶き方，膠や水の量など丁寧にご指導いただきました。色紙は，1人3～4枚。参加者は，それぞれ濃い色や薄い色をグラデーションにしたり，単色で色をつけたりしました。午前中は下地づくりが中心でした。

②岩絵の具を使って細部の描き込み

岩絵の具の溶き方，金泥のつくり方，金箔の扱い方，水晶末の溶き方や表現法など，守先生が参加者の前で扱い方の手本を見せてくださいました。参加者は，水晶末で描いた時の下地の透き通った様子や岩絵の具を重ねた時の色のつき方を見て「きれい」「日本画っぽい」など感嘆の声。

特に，金箔や金泥は，「一度やってみたかった」「ドキドキする」「ほんの少しの空気の流れて飛んでしまうのですね」等，初めて扱う参加者もお喜びでした。

各自，3～4枚の色紙をストーリー性をもたせて制作している参加者や様々な色や技法を試し，偶然から生まれる美しさを楽しんでいる参加者が多かったです。

【鑑賞会】



【鑑賞会の様子】

守先生は，参加者一人一人に作品についての声をかけてくださいました。どの作品にも良さを見出してくださり，アンケートからは，「一人一人に丁寧に批評・指導して下さったのが嬉しかった」とありました。

【参加者の作品（一部）】



6 その他

アンケートの中には、「日本画の画材と表現法に関して、初歩から段階的にセミナーをやってほしい」との意見もあり、今後の参考にしたいと思います。

来年度も様々なセミナーを計画中です。

HP等に掲載しますので、ぜひご参加ください。